

残暑お見舞い 申し上げます

8/15

2014年第1178号

(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
 発行人 志岐 敬
 大阪市浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
<http://osk-net.org/>
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可



診療所前の兵庫・沼島港で。利森仁さん(右)と歯科衛生士の石垣恵以子さん

4・5面に特集

スポット
ライト

大阪から兵庫・沼島へ 離島診療を続けて2年半

歯科医師 利森 仁さん (45歳、旭区)

日時：8月31日(日) 10時～15時半 会場：M&Dホール 会費：無料

◆午前の部 (10時～12時半)

「市場化の中の医療改革～成長戦略が皆保険を揺るがす」

【講師】横山壽一氏 (金沢大学大学院教授)

「社会保障『改革』と歯科医療クライシス」

【講師】政策部講師団

◆午後の部 (13時半～15時半)

「集团的自衛権と日本の針路～安倍政権と亡国の安全保障政策」

【講師】前泊博盛氏 (沖縄国際大学大学院教授)

※午前・午後とも市民講座として開きます。1日通しで参加の会員には昼食を用意します

※お申し込みは事務局 (Tel.06-6568-7731) まで

今号の主な内容

- 3面：診療報酬改定会員アンケート結果
- 4・5面：特集企画「島民の願いに応えるために」
- 6・7面：会員投稿
- 9面：研究講座「歯科医院における偶発症予防と救命処置③」
- 10面：特集企画「平和を願い描き続けた絵本画家・いわさきちひろ没後40年～ちひろ美術館常任顧問・松本猛さんに聞く」

サマーカーセミナー

お知らせ

本紙は、8月5日付・15日付の合併号です。協会は13～17日まで休務となります。

異常気象と言われる今年の夏は、蚊の巻き返しや想定を超えた災害が懸念される。改めて、医療技術などの科学と医療制度を含む人間組織としてのその有効な運用への信頼強化が求められる。

ニューオリンズでは昔は数年間隔で10万人以上の死者を出したが、その苦悩の中から、現在世界中の大衆音楽のルーツとなっているブルースが生まれた。疫病や地震などの自然災害に音楽の力が喧伝されるのは、逆に人間の英知や科学の未熟さを指摘されているようである。

酷暑の頃に胸に去来するのは蚊のことである。蚊が媒介する日本脳炎は、一体その最盛期に日本列島で何人くらいの犠牲者を出したのか。専門家に聞いてみたら、3千人くらいやると答えてくれた。マリアアや黄熱は、ニューオリンズやアフリカ西部のかつての奴隷海岸など熱帯や亜熱帯地方に多発した。今年年間数十万人が人類の天敵の昆虫類の犠牲になっている。

歯界

胸に去来するのは蚊のことである。蚊が媒介する日本脳炎は、一体その最盛期に日本列島で何人くらいの犠牲者を出したのか。専門家に聞いてみたら、3千人くらいやると答えてくれた。